

# 平成 19 年度ホタテガイ採苗情報（第 5 報）

平成 19 年 5 月 23 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

## 「各地で付着稚貝数は増加。」

### 1 ラーバの出現状況

5月22日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、殻長 $200\mu\text{m}$ 未満が0個/トン、 $200\mu\text{m}$ 以上が27個/トンでした。前回調査時（合計52個/トン）より減少しましたが、付着間近の大型ラーバが確認されています。

調査時の水深10m層の水温は $10.6^{\circ}\text{C}$ と、前回調査時より $0.3^{\circ}\text{C}$ 低下し、平成9～18年の平均値より $0.7^{\circ}\text{C}$ 高い値になっています。

### 2 試験採苗器による付着稚貝調査

5月14日以降の調査において、宮古、釜石および大船渡地区で付着稚貝が確認されています。

各調査点の付着数は93～2,549個/袋でした。各地で付着数は増加し、多くの稚貝が付着しています。

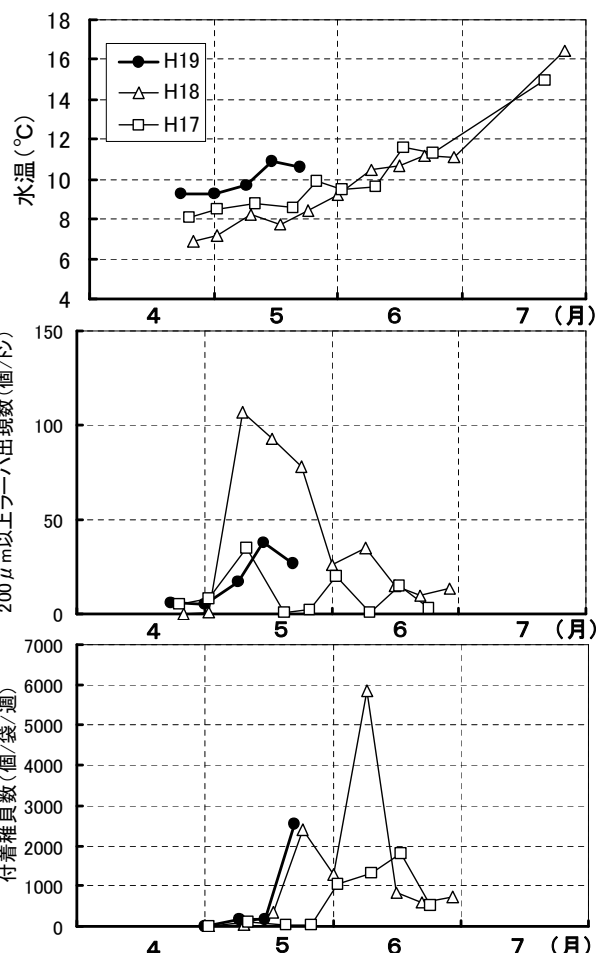


図 唐丹湾における水深10m層水温とホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

なお、唐丹湾では、付着稚貝の約4%にあたる100個/袋が付着直後の個体でした。

県中南部では、付着間近の大型ラーバが確認され、付着稚貝数も急激に増加しています。しかも、付着直後の稚貝が多数確認されていることから、稚貝の付着は続いているものと考えられます。

最寄の採苗情報に注意しながら、採苗器の投入を進めてください。

次報は、5月31日に発行する予定です。

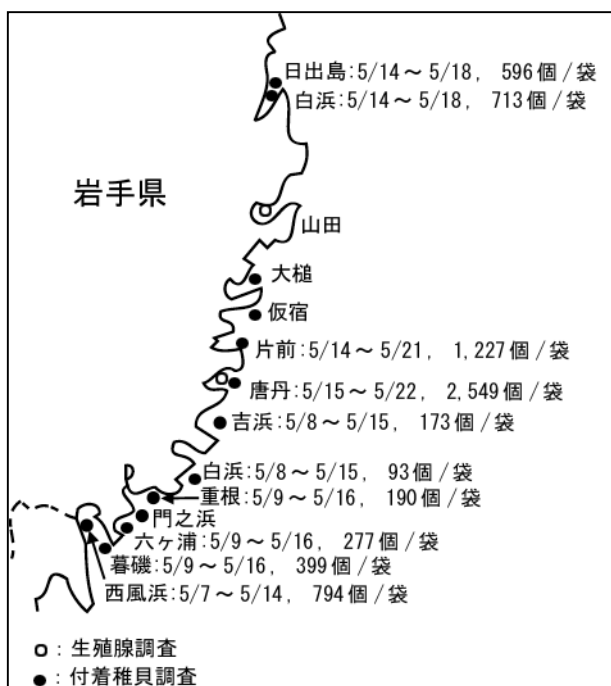


図 調査点と付着稚貝調査結果